

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次

ヒューマンパザまつり報告	3
全国大フォーラム	5
虫めがね	7
学習会報告	8
実習所報告、和栗さん連載	9
小野塚さん連載	10
夕会報告 スケジュール、寄付のお礼	11
編集後記	12

2008年  
12  
月号





皆さん秋ですねー。  
 冬に近づき徐々に寒くなってまいりました。  
 皆さん、お元気でお過ごしですか？  
 毎年なのですが、インフルエンザや風邪等ひかないよ  
 うに健康管理に気を付けましょう。

天海 隆一

## 第10回

# ヒューマンプラザまつり

### 地域との交流をより深く

11月2日に行われたヒューマンプラザ祭りは、連休の中日なのでお客様が来るかどうか？と心配する声も聞かれましたが、案外盛況でお店番をしても忙しくて胸をなで下ろしました。私は企画部なので毎年後半の行事から売り出すカレンダーの仕入れを、企画のメンバーや職員と一緒に考えるのですが、だったりしておどろきます。カレンダーの仕入れの難し

売れると思ったものが駄目  
 今年はそれが顕著に現れて  
 さを考えさせられました。

太田 圭子

いらっしゃいませ～！  
 カレンダーはいかがですか？

楽しかった  
 ヒューマンプラザ祭り



食事も  
 おいしかったよ  
 (o^^o)



ヒューマンぶらざまつりに参加しました！

**大好評**

工房の商品は安くて、かわいいよ



いらっしやいませ  
 安くて、可愛いよ！

佐久間さんのデザインだよ！

見て行ってね~\(^\_^)/



ヒューマンぶらざまつりは楽しかった。  
 カレーを食べました。色々観てまわりました。  
 工房の品物の売上は、まあまあでした。沢山の  
 ボランティアさんやお客様に感謝致します。  
 どうもありがとうございました。

♡

金田 潤坤

皆さま、  
 お買い上げありがとうございました。

Thank You

ヒューマンぶらざまつり売上

工房（手作り商品等）  
 三四，九〇〇円  
 （寄付六〇〇円）

企画（カレンダー等）  
 四八，七八〇円

バザー（古本等）  
 四，五九〇円

総売上金額  
 八八，二七〇円



もうやめようよ！ 障害者自立支援法

# 10.31全国大フォーラム

—1からつくろう地域で暮らせる新たな法制を—



に参加してきました！！

## 各政党の議員さん達も集まりました



去る十月三十一日、日比谷野外音楽堂で、自立支援法撤廃を求める全国集会が開かれました。あいにくの曇り空と、少し肌寒い陽気にも関わらず、北は北海道から南は九州沖縄まで何と六千五百人の仲間や職員さんやボランティアさんが集まりました。作業所の職員さん等、多くの関係者の方々が、自立支援法が始まってからの、お金の苦しみなどを次々に報告されました。その後、国会方面までデモ行進をしました。自立支援法などの撤廃をスローガンに掲げて、氣勢とまでは行かなかったが、大きな声を出して、気迫のこもった行進でした。最後になりましたが、風の子の職員さん、ボランティアさん、仲間の皆さん、本当にご苦労様でした。

太田 稔



6500名が NO! NO! NO!



日比谷野外音楽堂で昔の仕事仲間にあえて、嬉しかった。  
デモ行進の時に、シユプレヒコールを皆と一緒に大声で出来ず、残念で申し訳なく思っ  
た。  
『各地からの発言会』で、『車での事故が原因で虐められていたけれど、今迄ずっと頑張ってきた』というのを覚えている。

近岡 真由美

## プログラム

- 11:30 オープニング（ミニコンサート）
- 12:00 主催者あいさつ  
（石野富志三郎・ろうあ連盟副理事長）  
各政党あいさつ  
自由民主党 衆議院議員・自民党障害者支援議員連盟会長・伊藤公介さん  
公明党 衆議院議員・高木美智代さん  
民主党 参議院議員・大河原まさこさん  
日本共産党 参議院議員・小池晃さん  
社民党 衆議院議員・保坂展人さん  
国民新党 参議院議員・自見庄三郎さん  
新党日本 参議院議員・田中康夫さん  
経過報告（三沢了・全国大行動）
- 12:40 実態報告 コーディネーター 藤井克徳・日本障害者協議会  
北海道、愛知、熊本、所得保障（無年金）、ヘルパー不足、精神障害、  
障害児、コミュニケーション支援、知的障害、脳外傷、通所・生活施設、自立支援法訴訟
- 13:40 アピール採択  
行動提起（尾上浩二・全国大行動）  
厚労大臣要請団（河原雅浩・ろうあ連盟）  
閉会あいさつ（勝又和夫・日本障害者協議会代表）
- 15:00～ デモ行進（国会、東京駅方面の2コース）

●国会議員要請行動 30日（木） すべての国会議員を150名で要請しました



みんなでデモ行進

障害者自立支援法成立から3年。この間政府は「特別対策」(2007年度)、「緊急措置」(2008年度)を実施せざるを得ませんでした。しかしそのような「期限付きの経過措置」を毎年とらざるを得ない法律そのものに問題があると我々は考えます。

応益負担の仕組みの導入は、障害の重い人ほど負担が大きくなるという実に深刻な問題です。さらに移動支援やコミュニケーション支援事業等の大きな地域間格差、長時間介護サービスを困難にしている国庫負担の仕組み、そして危機的な人材不足をもたらした報酬単価・体系にニーズに基づく支援を難しくしている介護保険になぞらえた障害程度区分に基づく支給決定システム、さらには一向に進まない「施設・病院からの地域移行」、このように「自立支援法」の問題点は際限なく、障害のある人の地域生活を保障するものとは到底いえません。「法の下での平等」等を明記した憲法にも違反したものです。

障害者自立支援法は制度設計の根本に問題があり、決して一部の「見直し」「手直し」で解決出来ないものと考えます。障害者の権利条約にふさわしい障害者施策・制度の確立を求めます。

……アピール文より一部抜粋・要約

今回からテーマが新しくなりました。担当メンバーは田中、田村、右田、小野塚です。さあ、どんな話が聞けるのでしょうか？



ドラえもんポケットの欲しいものは、携帯のおもちやほしいです。  
おもちやアラビンのランプもほしいです。  
どうしてかというところ、ランプの精が言うことをなんでも聞いてくれるので、私が今欲しいおもちやの携帯電話「パピポ」をくれると思うからです。

右田 磨子

## 虫めかね

# 「ドラえもんの道具で一番ほしいもの」

僕の「ドラえもんの四次元ポケット」の中で一番欲しい道具は、翻訳コンニャクとどこでもドアです。なぜかというところ、どこでもドアを使って好きなところに、自宅や職場から、自分の行きたい所へ行けるので、東京ディズニーリゾートや阪神甲子園球場へアクセスを使わずに行けることや、海外旅行に行き、コンニャクを自分で食べるか、外国人の方に食べてもらえれば、会話が出来るようになるので、とても便利だと思います。一番欲しいのは、四次元ポケットがあればどのようなことがあったとしても、自由に出して使うことが出来るから、四次元ポケットが一番いいなあ・・・



田中 聡

僕が欲しい道具は『アクションカルタ』という遊びの道具で、効果は『カルタの札が町中に散らばり、読み札のヒントをたよりに町中を探す。読み札の音声は、専用のイヤホンをつけて聞く』と言う物です。

僕は遊びが大好きなので此の様な道具を選びました。もともとカルタ取りが好きで更にヒント（暗号等）を便りに物を探す・問題を解くのが好きなので此の道具で町中を使い、大掛かりな遊びをしてみたいです。

唯少し欠点があり、此の御時世に町中を歩き回るのが危ないというのと、そこまで遊び仲間が居るか、あくまでカルタ風な遊び（読み手のヒントで物を探す）なので、ネタが尽きる（読み札の文しかない）から飽きが来るであろう点です。其れでもこういう系の遊びは何遍もやってみたいです。



田村 亮彦

人気爆発中!

## 虫めかね

テーマ：**ドラえものの道具で一番ほしいもの**

今回からテーマが新しくなりました。さあ、どんな話が聞けるでしょうか？



子供達が夢見て憧れる物語をファンタジーと呼ぶならば、僕ら世代にとつての最初のファンタジーはおそらくドラえもんだろう。主人公の少年がガキ大将にいじめられたり、悩み事を抱えたときにはいつもそばにいて慰め、不思議な道具で問題を解決してくれる。主人公もいつも甘えているわけではなく、時には自分自身の力で困難を克服しようと努力する。ドラえもんは、少年の成長を描いたファンタジーだ。

歳を重ね、世間体や人とのしがらみなどを抱えながら生きていく、いわゆる“大人”という世代になつてしまった僕たちには、ドラえもんの世界は少々眩しすぎるように感じられる。「どこでもドアでいるんなどこに行つてみたい！」とか「タケコプターで空を飛んでみたい！」というような純粋な憧憬を正直に口には出しづらくなつてきてしまったのだ。夢を素直に語つていい年齢ではもはやないと思ふし、現実を直視するのに精一杯でそういうことを考える余裕が無くなつてきているのも事実だ。

もう少し歳を取れば、いろんな事にもう少し余裕が持てるようになれるかもしれない。そうなれば、もう少し余裕を持って世界を見ることが出来るかもしれない。

そうなれば、ドラえもんについてももう少し語れるようになるのかもしれない。

現時点では、これが精一杯の答えだ。

小野塚 航

# 学習会

太田 稔



## 10月15日【前半:クロスワード、後半:音楽鑑賞】

前半のクロスワードはインターネットから拾ってきた問題を、2班に分かれて競争しました。みんなでウンウン唸りながら解いていきました。

音楽鑑賞は、みんなで持ち寄ったCDを、懐かしく聞きました。特にベンチャーズのバンド演奏が懐かしかったと思います。

## 10月22日【前半:クイズ、後半:ウイスキーの話】

前半は田村君が出題したクイズで、一連の言葉の共通点や、あるなしクイズで知恵をしばりました。

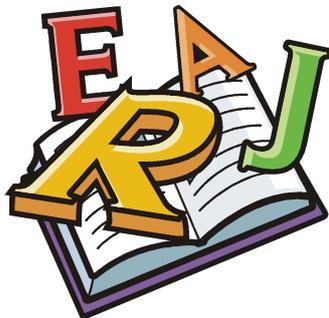
後半は丸岡君がウイスキーの話をしてくれました。ウイスキーの歴史や製法、主な銘柄や生産国のお話を聞きましたが、とても面白かったです。



## 10月29日【前半:裁判員制度、後半:英語】

前半は来年度から日本の裁判制度が変わると言うことから、風の子会の学習会で取り上げることにしました。ところが難しすぎて、よく解りませんでした。またこういう機会があったらやりたいなと僕は思いました。

後半は英語でした。河原さんが男女の出会いから別れまでのシチュエーションで定番の英会話を面白可笑しく話してくれました。



## 11月5日【予定決め】

この日は、今年いっぱい残りの学習会の予定決めをしました。数は少ないけれど面白い題材が揃ったと思います。



# 実習所報告

## 風工房

吉田印刷さんからひも通しの内職の依頼が来ました。もりべさんから割り箸の内職の依頼が来ました。風の子の30周年式典で僕たちの出し物で使うボンボンを作っています。11月6日に行われたフェスティバルーンに出す商品作りも頑張りました。12月6日の障害者記念事業のための商品やヒューマンぷらごまつりのための商品作りもやっています。はなみずきで売れている商品はビーズストラップやメモ帳です。和紙作りのやり方が変わりました。前よりも今の方がやりやすいです。もうすぐ年末ですね。年賀状に使う和紙ハガキをいっぱい作っています。

朝生 孝之

## 風企画

11月2日（日）に行われた、ヒューマンぷらご祭りに、販売するカレンダーの注文をする数を皆で話し合って決めました。港区民祭りの、売り上げと在庫を比べながら皆の意見を聞きながら企画会議を行いました。



田中 聡

## シベリヤ出兵秘話

### 第54回



君も、私も軍人なのだ。軍人は、上からの命令には、例え無理な命令でも、最善を尽くして、その命令を、速やかに遂行することこそが、指揮官としての役目ではないだろうか。

そう言うと、瀬藤大佐は、笑いながら君には釈迦に説法だったかな、すまないことを言ったと頭を下げた。部隊長殿が謝るなんてとんでもないです、自分こそ軍人としての心構えを忘れるところでしたと、原吉少佐は不動の姿勢になると深々と頭を下げた。金の切断作業も、明日には終わ

る。後は木箱に詰めて 封印をして、軍艦に無事に乗せれば 私達の任務は終わる。いよいよ内地に全員が無事に凱旋できるのだ。

～次回に続く～  
栗 あきら

## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第13話 冬の雪道で溝にハマる

それは確か二年目の冬の頃だったと思う。そのとき部屋にいたのは関西の先輩と秋田の後輩と僕の三人だった。夜も十分に更けて、ちょうど小腹が空いてくる頃合いだった。「なんか食いに行くか？」誰とはなしに口に出た言葉に他の二人も、煙草と財布をポケットに入れて部屋を出て車に乗り込んだ。

貧乏学生というのは絶えず腹が減っている。夜中の空腹感には特に耐え難い。こういうときに先輩がいるとすぐに車を出してくれて、コンビニに向かうのだ。「セブンイレブンとローソン、どっちにする？」「やっぱり行き慣れているセブンでしょ」「おっしゃ、行くか！」寮を出発し、駅前を通過して鶴川街道沿いのセブンイレブンを目指す。

セブンイレブンでおにぎりと午後の紅茶（レモン）を買い、車に乗って食べる。このまま帰る気分には誰もならず、とりあえず鶴川街道を北上した。多摩センターを抜けて鎌倉街道にのり、多摩川を渡って中央高速の下をくぐると甲州街道にはいる。ここで今回の目的地は甲州街道を行けるとこまで西へ、ということに決めた。

八王子の市街を抜けると甲州街道は峠道になる。大垂水峠というのはバイク乗りの間では結構有名なコースだ。そこを抜けると相模湖が見えてくる。カーステレオから流れるはやりの曲をBGMに、僕らはどんどん車を走らせた。

大月を過ぎて山梨にはいると、視界の左に富士山が入ってくる。夜のドライブで背景は闇と化しているが、その中でも富士の気配は荘厳にそこにあった。闇夜に鎮座しているその姿は、確かに神々しさを感じさせる。

夜の中を走り抜け、東の空が少しずつ明るんできた。背中に朝陽を感じながらも更に甲州街道を進む。永遠に感じられるような長さの笹子トンネルを抜けると、もう甲府が間近になってくる。長野の諏訪あたりを最終目的にしていたが、みんなそろそろドライブに疲れてきたので、このあたりで先へ進むのをやめることにした。そのまま引き返すのは何だかもったいない気がして、進路を北に変えて山道を走ろうということになった。

それが何という山だったか定かではないが、標高がそれなりにあったのか、山道に入ると道に雪だまりが見えるようになってきた。久しぶりの雪景色にはしゃぎながら車は進む。車が一台通れるかどうかの峠道に差しかかると、完全に道は雪で埋まっていた。チェーンなど当然装着している訳もなく、カーブを曲がるたびにスリップする。「先輩、かなり滑ってるんだけど・・・」「大丈夫大丈夫、なんとかなるって」突然、車がガクッと大きく揺れて動きを止めた。どうも右後輪が雪溝にハマったようで、車の前にも後ろにも全く動かない状態になってしまったのだ。「どうすんですか！？ ハマっちゃったじゃないですか！」不安にかられながら叫ぶ僕をすかしながら先輩は車を降りて、腕組みをしながら後輪をじっと眺めていた。

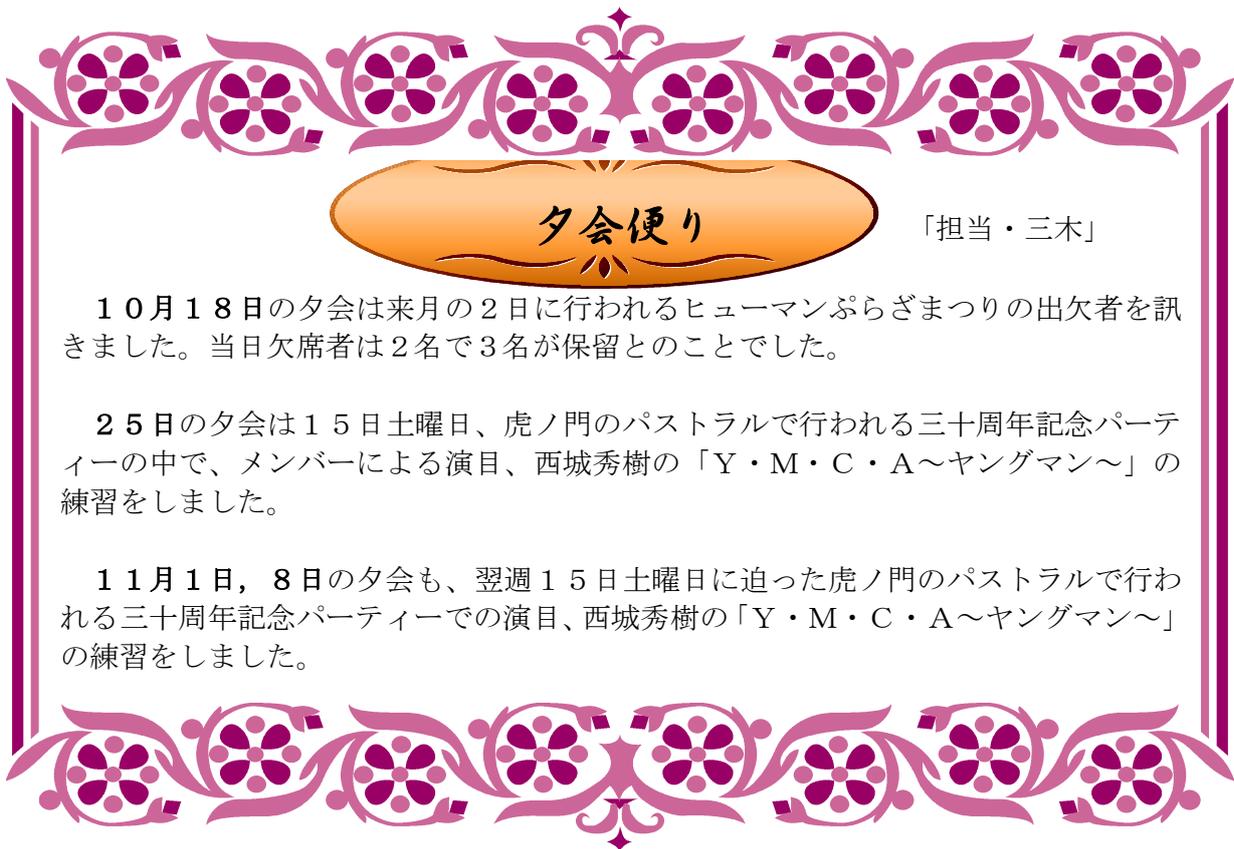
「俺が後ろから押してみるから、アクセルを踏んでくれないか」先輩がそういうと後輩が運転席に座った。「いくぞ。せーの！」ウィィィィン。押しても押しても、後輪は空回りをするだけで、溝から抜ける気配はない。先輩と後輩が入れ替わってみても、結果は同じだった。

途方に暮れながら三人で煙草を吸っていると、向こうの方から一台の車が降りてきた。「あんちゃんたち、どうしたんだあ」地元のおっちゃんらしい人が車から声をかけてきたので、事情を話すと「んじゃあ、ひっぱってやんよ」と言ってくれた。車と車をロープで結び、おっちゃんの車に引かれながら、何とか溝から抜け出すことができた。

「ありがとうございます」安堵の表情で僕らが言うと、おっちゃんも笑顔で答えた。「今度来るときは、ちゃんとチェーンをつけてくるんだぞ」

ドライブのエピソードはたくさんあるが、これはその一つの話だ。

～ 第14話へつづく ～



## 夕会便り

「担当・三木」

10月18日の夕会は来月の2日に行われるヒューマンぷらざまつりの出欠者を訊きました。当日欠席者は2名で3名が保留とのことでした。

25日の夕会は15日土曜日、虎ノ門のパストラルで行われる三十周年記念パーティーの中で、メンバーによる演目、西城秀樹の「Y・M・C・A～ヤングマン～」の練習をしました。

11月1日、8日の夕会も、翌週15日土曜日に迫った虎ノ門のパストラルで行われる三十周年記念パーティーでの演目、西城秀樹の「Y・M・C・A～ヤングマン～」の練習をしました。

### 寄付のお礼

10月11日～11月8日

寄付を下された方  
国枝三代子様 松本成子様  
高野カネ様

賛助会に賛同下さった方  
高野定雄・カネ様  
中山信孝様 原澤芳子様

ありがとうございました



### スケジュール

十一月十九日(水)・・・移動介護実習  
十一月二十六日(水)・・・運営委員会  
十二月二十五日(木)～一月四日(日)  
・・・冬休み

winter

### 休載のお知らせ

の毎回好評  
の連載小説  
「母の思い出」  
ですが、作者  
の旅のため今  
回は休載さ  
せていただきます  
お楽しみに！

この間、風の子会の帰りに「小池キャブ」にT君と一緒に乗り、運転手は職員のKさんでした。T君がリフトで車から降り様とした時、リフトが動かず壊れた様です。Kさんは戸惑った様子でしたが、車まで迎えに来ていたT君のお母さんが車の横から降りず様に指示しました。T君は足が強いので支えれば歩ける為、まず車椅子から座席へ移動し三段くらい有る段差をKさんが支えて無事に降りました。私も似た様な障害だったのと同じ様に降りましたが、ここ数年、階段を使つた事が無かったのでも、最初は不安でした。無事に降りられた事は自信と喜びを感じました。Kさん有難う！

幸 高史



突然、田母神航空幕僚長が、解任された、解任の理由は、懸賞論文の中に書いてある文章が、今までの政府の見解と異なった考えを正直に書いたのである。文章の中で、今時大戦では、我が国は濡れ衣を着せられたとあるが、これは言いすぎだと想う。

和栗 顕太郎

「今日この頃。」と、貧乏人のひがみ根性を顕わにしている。弱者で、格差社会についていられるのかなあ。活していかれるのかなあ。たものだなあ。底の見えない景気の中で生

リハビリ通院の帰り、スーパーマーケットで買い物をする。「え」と、今日は、牛乳とバター、食パン、とうもろこしの粒上の缶、食

いーい。

吉田 久代

**ひとりぼっちの障害者をなくそう**  
**特定非営利活動法人・風の子会**  
 ~定価40円~

編集人：【高浜生活実習所】  
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
 東京都世田谷区砧6-26-21

編集者  
 天海 隆  
 太田 彦  
 小野 聡  
 松田 圭子  
 右田 司  
 吉田 久代

和栗 顕太郎  
 幸木 直人  
 三村 亮  
 田村 史  
 佐久間 彦  
 太田 隆  
 天海 彦